様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回碧南警察署協議会（定例会）
日時･場所	令和７年５月29日（木）午後３時零分から午後５時15分までの間　碧南警察署　講堂
出　席　者	１　委員　７名（定数８名） 神谷　弘恵会長　　加藤　毅副会長 新實　エルニ　スダルニンシ委員　　石川　彩委員 神谷　和寿委員　　奥谷　一仁委員 宮地　京子委員
	２　警察署員　　９名 小笠原署長　　野田副署長　　坪井警務課長 近藤会計課長　　尾崎地域課長　　鎌田交番所長 石川刑事課長　　中筋交通課長　　髙垣警備課長
	３　有識者等 なし

１　会長あいさつ
２　署長あいさつ
３　今春異動してきた幹部紹介
４　前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況（地域課長説明）
(1) 協議事項
巡回連絡への理解とその浸透を図るために
(2) 意見・要望
ア　地域密着型の広報活動
イ　外国人を雇用する企業への働きかけ、協力依頼による外国人に対する広報活動
(3) 施策推進状況
・　外国人向け防犯交通安全イベントにて広報活動を実施した。
・　幼稚園における防犯訓練の際に広報活動を実施した。
・　寺社祭礼の警備に合わせて広報活動を実施した。
・　地域情報誌へ広報記事を掲載した。
・　交番だよりで広報記事を掲載した。
５　協議事項
高校生の交通安全意識の向上

様式第９（続紙）

６　協議

・　高校生でヘルメットをかぶっている人を見ない。髪型が崩れるのを気にしてヘルメットをかぶらない。危ないということを、もっとアピールする必要があるのではないか。

・　高校生に何かさせようとしても難しい。罰則を与えるか、ヘルメットをかぶることをカッコイイと思わせることが必要だと思う。

・　車の運転には運転免許の勉強をしっかりやったが、自転車はそうではない事故などのショッキングな映像を見せ、現実にどうなるのか危機感を与えればよい。

・　会社では運転手に対し、安全運転教育として事故になったらこういうことになる、悲惨な結果につながることを伝える。

・　ながらスマホ、並走運転など事故にならなければ、やっていることの重大性を感じないのではないか。

・　一時停止や歩道通行などのルールを知らないのではないか、判断に迷うような難しい法律が自転車には多い。

・　電車を利用する高校生は自宅から駅、駅から高校までとヘルメットを２個用意しなければならない。

　ヘルメットを買うにしても安くない。

・　高校生の集まる場所、学校、コンビニ、駅、商業施設でのヘルメットの啓発広報をしたらどうか

・　高校生くらいだとＳＮＳに興味を持つ世代、高校を通じてＳＮＳを使って広報をやればよいのではないか。

・　高校でホームページを作る勉強をしているところがあるので、高校生に動画作成を協力してもらって、一緒に動画を作ると意識も高まるのではないか。

・　若い子は長尺を見ない。長くても 30 秒、ショート動画をいくつかパターンを作って、定期的に流すと良いのではないか。

・　締め付けるよりカッコイイと思わせたらよいと思う。

７　意見・要望

(1) 高校生が集まる場所での啓発活動の推進

(2) 安全意識付けのため、ソーシャルメディアを活用した啓発活動の推進

８　その他

次回の開催予定は、令和７年８月頃とする。